

理事官



昭和十三年二月十日 決議

二月十日 執行

書記官



議長 **佐**

副議長 **長**

書記官長



清水顧問官旭日章加授ノ件左案ノ通

具申相成可然哉

秘發一三第一〇號

案

樞密顧問官清水澄敘勲一等授瑞寶章以來  
勲勞抄カラス茲ニ成績顯著ナルヲ確認ス仍テ  
敘勲内則第十六條ニ據リ同等旭日章授與相成度

樞密院

履歷書ヲ具シ此段及具申候也

昭和十三年二月十日

議長

内閣總理大臣宛

三月九日  
授旭日大授章  
(親授式行也)

六五



履歷書

樞密顧問官從二位勳一等清水 澄

瑞第

明治元年八月十一日生

族籍 東京府平民  
現住所 東京市港區代々木六丁目六十番地

年號 月 日 任免賞罰等 資格 在職年數 通算

行政裁判所長官 親任

昭和七年三月十四日 勳一等瑞寶章

同九年六月十五日 任樞密顧問官 親任

同十二年三月一日 敘從二位 六年六年

同十三年二月二十八日

樞密院

合計六年

參照

○敘勳内則

第十六條

左ニ掲ケタル者成績顯著ト認メタルトキハ

其ノ受有勳等ノ勳章ト同等旭日章又ハ寶冠章ヲ賜フコトアルヘシ

一 高等官一等以上ノ者ハ勳一等瑞寶章ヲ受ケタ

ル後高等官一等以上ノ官職ニ在リテ精勤ス

ルコト内閣總理大臣樞密院議長元帥諸大臣

ハ滿五年以上朝鮮總督樞密院副議長陸

海軍大將樞密顧問官ハ滿六年以上其ノ他ノ

親任官ハ滿七年以上親任官待遇ヲ受ケル

者ハ滿七年半以上高等官一等ハ滿八年以

上トス

二 (下略)

樞密院

裏面白紙

一旭日大倭章

壹具

右領收候也

昭和十三年三月十五日

枢密顧問官 清水 澄



枢密院

印

枢密院

裏面白紙

理事官



昭和十三年三月十六日

書記官



書記官長



案

一勲三等旭日中綬章

在案領問官清水澄分

壹箇

右還納候。付及廻送候也

昭和十三年三月十六日

樞密院

賞魚局

御中

裏面白紙

一 勲記

旭日大紋章

壹箱

一 領票

壹葉

右及送付候ニ付領票ノ御捺印ノ上折返ニ當秘書課ノ御返  
戻相成度候

昭和十三年五月十九日

樞密院 秘書課

清水顧問官殿

樞密院

一 憑記

壹箱

一 領票

壹葉

右領收候也

昭和十三年五月十九日

清水家



樞密院

御中

樞密院



(昭和十三年四月二十日施行)

大正十三年十二月十九日勅諭市長、町村長候補ニ關スル件申立ノ趣  
改正ス

第五項及第六項ヲ左ノ如ク改ム

五 人口一萬以上ノ町村ノ町村長ハ高等官八等ヲ以テ特選セラルル  
者ト同一ニ取扱フコト

六 人口一萬未満ノ町村ノ町村長ハ例任官一等ヲ以テ特選セラルル  
者ト同一ニ取扱フコト

第九項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

十 第五項改正ノ目前ニ於テ人口一萬以上ノ町村ノ町村長ニシテ  
ノ在職年月ハ高等官八等特選トシテ選定スルコト但シ前條アル  
者ハ前條後ノ年月ニ限ル



理事官



昭和十二年五月二十日

書記官



書記官長



案

一 魚記領票 樞密顧問官清水澄分

壹通

右及回送候也

昭和十二年五月二十日

樞密院

賞魚局 街中

昭和十三年三月九日附加日大綾章 第一一〇〇六八號

樞密院

百十一万六千八百